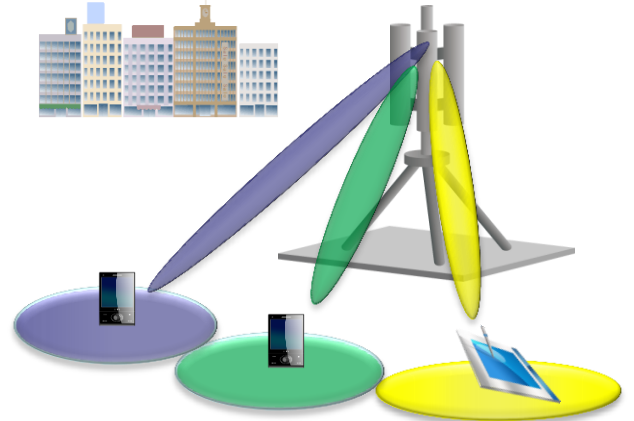


# アンテナ高度化を支える ビームフォーミング技術

## 概要

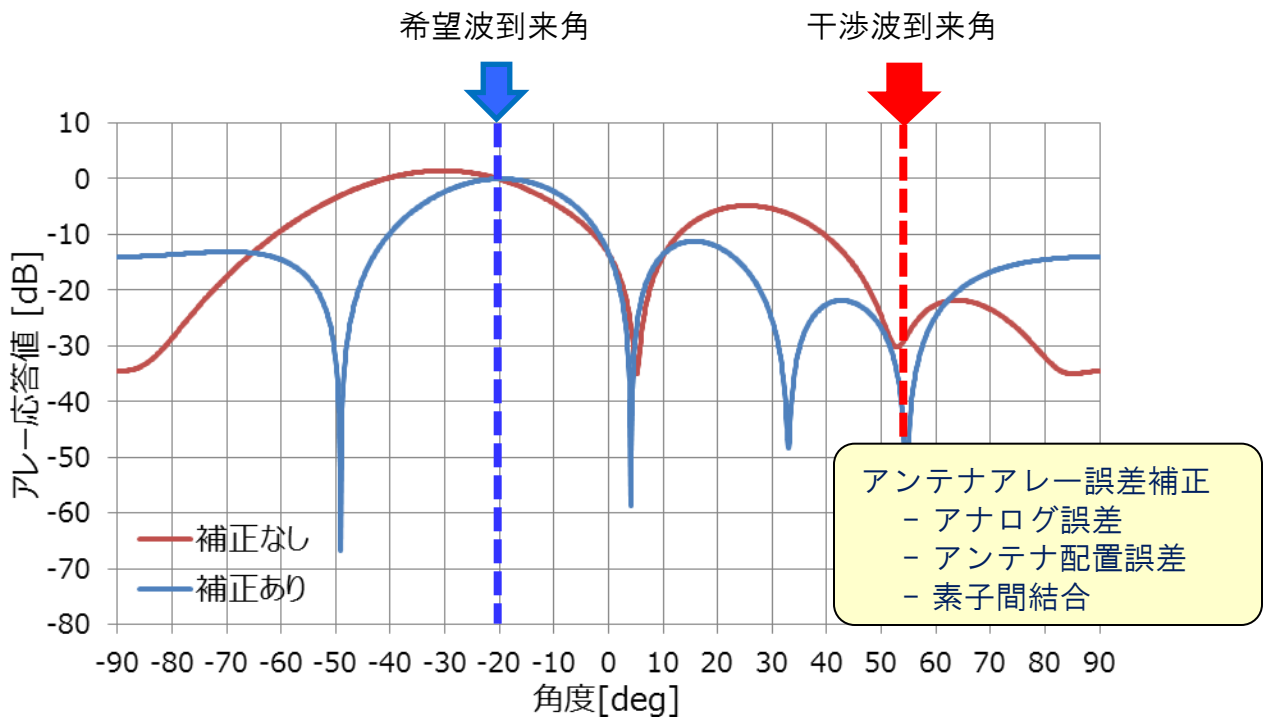
増大し続けるモバイルトラフィックに対応するためミリ波に代表される高周波数帯の利用が検討されています。高周波数帯を有効利用するためには多素子アンテナを活用したビームフォーミング技術が必須となります。ビームフォーミング技術を用いることによりカバレッジの改善や周波数利用効率の改善が見込めます。

当社はアンテナ高度化を実現するビームフォーミング技術の研究開発を行っています。



## 特徴

多素子アンテナを用いたビームフォーミングでは、アンテナアレー誤差の影響が増大し、ビームの指向性制御に大きく影響を与えます。ビームの指向性を正確に制御するためには、アンテナアレー誤差を最小限とする補正技術(キャリブレーション)が必要となります。



## 今後の応用分野

- 第5世代セルラシステムで導入が検討されている「3D/Full Dimension/Massive MIMO」
- ワイヤレスバックホール
- 鋭い指向性を必要とする高信頼制御通信
- 衝突を回避し安定してつながるIoT/M2Mネットワーク

© Copyright 2015 Mobile Techno Corp.

